

## (胃がん021)CapeOX内服

## 化学療法登録書

薬剤部調製用(医師は投与量入力不要)

患者ID @PATIENTID

患者氏名 @PATIENTNAME

診療科 @USERSECTION 医師名 @USERNAME

レジメン開始予定日(必ず入力)

年 月 日

CapeOX療法		21日/1コース					
							次コース
	day1	day2			day22	day23	
オキサリプラチン	↓				↓		
カペシタビン			← 14日投与 →		← (7日休薬) →		
<b>【参考】</b>							
オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup> /day						
カペシタビン	2000mg/m <sup>2</sup> /day	分2朝夕食後					

\*レジメン開始後、投与スケジュール変更(休薬・減量等)コメント欄

①day01				
療法プロトコール				
Rp.1	生理食塩液	100ml		
	デキサート	3A		
	アロキシ	1A	30分	点滴
Rp.2	5%ブドウ糖	250ml		
	オキサリプラチン	( )mg	2時間	点滴
Rp.3	生理食塩液	50ml	15分	点滴
21病日に休薬完了				
②day01(2回目以降)・・・登録書・指示書抜き				

表2: CapeOX療法におけるカペシタビンの減量基準

有害事象	程度
血小板減少	50,000/mm <sup>3</sup> 未満
好中球減少	1,000/mm <sup>3</sup> 未満
発熱性好中球減少症	Grade 3以上
その他の非血液毒性	Grade 2以上*

\*: カペシタビン投与に起因するGrade 2以上の非血液毒性が発現した場合はGrade 1以下に回復するまで休薬し、減量して投与を再開する。

表3: CapeOX療法におけるオキサリプラチンの減量基準

有害事象	程度	次回オキサリプラチン投与量
血小板減少	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	1回目発現時: 100mg/m <sup>2</sup> に減量 2回目発現時: 85mg/m <sup>2</sup> に減量
好中球減少	1,000/mm <sup>3</sup> 未満	
発熱性好中球減少症	Grade 3以上	
非血液毒性	Grade 3以上	
感覚性神経毒性	コースを超えて継続するGrade 2	OGSG1403では、75mg/m
	7日以上継続するGrade 3	
	コースを超えて継続するGrade 3	オキサリプラチン中止